

●公益法人Ⅲα Version 6.904、公益法人α Version 7.904

当プログラムは、マイクロソフト社のサポート対応終了に伴い、Windows XP・Vista 搭載機へのインストールは不可となっています。

◆ 名称等転送

- 「仕訳対応摘要」のチェックボックスを追加しました。
「科目関係(名称・科目設定・分析登録内の設定)」及び「摘要辞書」のいずれにもチェックがある場合に、「仕訳対応摘要」のチェックボックスが有効になります。
「科目対応摘要」と同様、上書き転送となります。

◆ 科目設定・残高登録

- 摘要辞書登録
 - ・「三菱UFJ銀行」の行名変更に伴い、摘要辞書の金融機関関係の初期名称を変更しました。新規作成時に適用されます。既存マスターは変更されません。
※併せて他の金融機関名も見直しを行いました。

◆ 部門設定

- オプション/各種設定
 - ・オプションに[各種設定]を追加し、科目別配賦の任意設定比率登録の配賦先部門を「部門名称」で表示できるようにしました。
- 部門登録
 - ・登録済みの部門を削除するときに、通常配賦や科目別配賦を行っている場合、配賦先部門の削除ができなかったのをできるように改良しました。

◆ 通信・移動

- マスター&データ抽出
 - ・未設定科目エラーが発生した時に、どの科目が原因なのかをリスト表示するようにしました。

◆ その他の改良、修正を行いました。

※詳細は、次ページからの“公益法人Ⅲdb (VERSION:6.904)、公益法人db (VERSION:7.904)の変更点”を参照してください。

改良・修正

I. 導入・更新

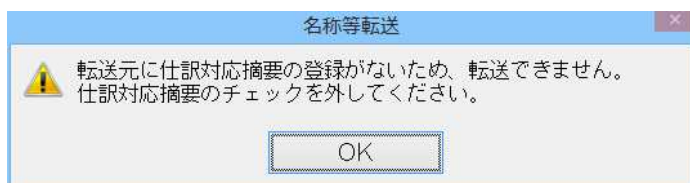
1) 残高合併

- ・合併マスターに対し、合併対象マスター側で拡張科目あり、拡張科目なしのマスターを混在して合併を行うと、動作停止する場合があったのを修正しました。

2) 名称等転送

- ・「仕訳対応摘要」のチェックボックスを追加しました
「科目関係（名称・科目設定・分析登録内の設定）」及び「摘要辞書」のいずれにもチェックがある場合に、「仕訳対応摘要」のチェックボックスが有効になります。
「科目対応摘要」と同様、上書き転送となります。

転送元の仕訳対応摘要登録数が 0 件の場合、メッセージを出して処理を中止します。



- ・「対応摘要ページ」を『科目対応摘要登録数』という表現に変更しました。
- ・転送元の科目対応摘要登録数が 0 件の場合、仕訳対応摘要と同様に処理を中止するようにしました。
- ・「摘要辞書」で「同一コードで名称が異なる場合は転送元名称を別コードで追加する」を選択し、かつ「科目対応摘要」にチェックを付けている状態で転送処理を行った場合、科目対応摘要へは、転送先に別コードで登録している摘要名称に、転送元で元々持っていた摘要コードをセットしていたため、転送先に登録している摘要コードで追加されるように修正しました。

例) 転送元

294 番の「三菱東京 UFJ」を「三菱 UFJ」に変更して、科目対応摘要のページ 1 に「294」を登録

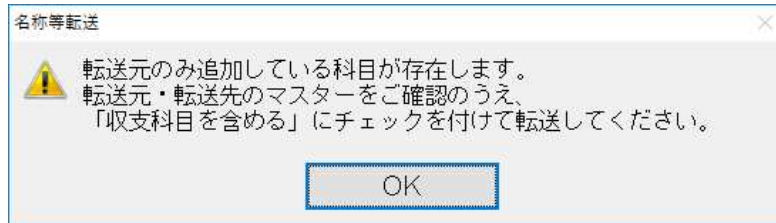
転送先

改良前 摘要辞書の 299 番に「三菱 UFJ」を追加し、科目対応摘要のページ 1 は「294」のままになっていました。

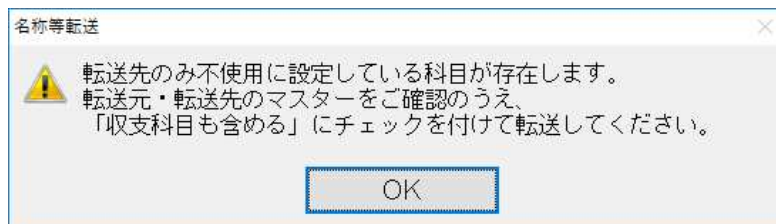
改良後 摘要辞書の 299 番に「三菱 UFJ」を追加し、科目対応摘要のページ 1 も「299」になります。

- ・非営利法人において、転送元、転送先マスター間の科目の拡張状態や使用不使用のサインが異なる場合、「科目関係（名称・科目設定）」及び「収支科目も含める」の両方にチェックが付いていないと転送できないように変更しました。
「収支科目も含める」のチェックを付けずに転送しようとした場合、メッセージを出し転送を中止します。

転送元で拡張された科目が転送先がない場合



同一科目で転送元が使用、転送先が不使用になっている場合



- ・「科目関係（名称・科目設定）」のチェックを付けたとき、「収支科目も含める」のチェックは常に ON になります。
- ・ある科目が転送先でのみ拡張されている場合や転送元でのみ不使用になっている場合は、従来どおりのメッセージを表示し転送を中止します。
- ・転送元、転送先マスター間で、科目の拡張や使用サインの相違がない場合は、従来どおり、「収支科目も含める」のチェックが OFF でも転送可能です。

II. 登録・入力

1) 残高問い合わせ

- ・下記条件に該当する場合、F11 発生残高の小計に、期中に仕訳発生のない枝番の残高が含まれていなかったのを修正しました。
(条件)
 - 1.枝番の期中の仕訳発生がない（期首・期末には残高がある）
 - 2.F6 条件設定で「残高・発生の無い枝番を出力する」はチェックなし
 - 3.過年度マスターが付いている。
- ・推移損益で枝番出力した際に、2 ページ目に枝番表示がされない場合があったのを修正しました。

2) 科目設定・残高登録

① 摘要辞書登録

- ・「三菱UFJ銀行」の行名変更に伴い、摘要辞書の金融機関関係の初期名称を変更しました。新規作成時に適用されます。既存マスターは変更されません。

※併せて他の金融機関名も見直しを行いました。

番号	変更後	カナ	変更前
281	損保ジャパン日本興亜	リソポ	損保ジャパン
286	S M B C 日興証券	イスム	日興コーディアル証券
288	三菱UFJモルガンスタンレー証券	ミツビ	三菱UFJ証券
294	三菱UFJ銀行	ミツビ	三菱東京UFJ銀行
297	イオン銀行	イオン	シティバンク (解散により削除)

3) 部門設定 (公益Ⅲ)

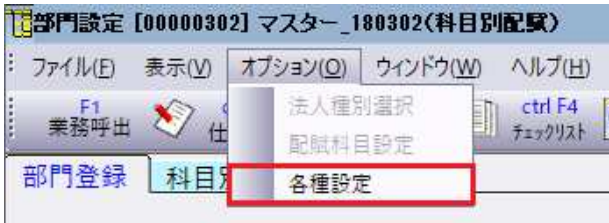
① オプション/各種設定

- ・オプションに [各種設定] を追加し、科目別配賦の任意設定比率登録の配賦先部門を「部門名称」で表示できるようにしました。

<下記ダイアログ内の項目名を部門番号 or 部門名称で表示します。>

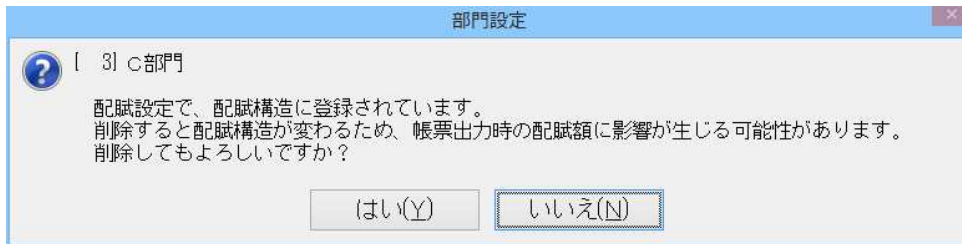
配賦比率設定

詳細割合



② 部門登録

- ・登録済みの部門を削除するときに、通常配賦や科目別配賦を行っている場合、配賦先部門の削除ができなかったのをできるように改良しました。



Ⅲ. 出力

1) 試算表 (公益Ⅲ)

- ・代替基金の表示に対応しました。
【一般正味財産】に「代替基金」と「その他一般正味財産」の金額を表示するようにしました。

勘定科目	前月残高	当 月 発 生 方		当 月 残 高
		借 方	貸 方	
【基 金】	2,000,000			2,000,000
【指 定 正 味 財 産】	1,500,000			1,500,000
代 替 基 金	1,000,000			1,000,000
そ の 他 一 般 正 味 財 産	2,500,000			2,500,000
【一 般 正 味 財 産】	3,500,000			3,500,000
【正 味 財 産 合 計】	7,000,000			7,000,000
【負 債 及 び 正 味 財 産 合 計】	7,000,000			7,000,000

2) 消費税額試算表・集計表・課税売上割合

- ・個別対応方式の一括税抜マスターで、消費税額試算表の [F6 詳細設定] で「課税取引期間計より消費税額を算出する(総額)」と「枝番表示を行う」の両方にチェックが入っている場合、損益計算書、課税取引、消費税額等の金額がおよそ倍額で表示されていたのを修正しました。

IV. 決算

1) 決算書【公益Ⅲ】

- ・部門配賦設定の切替時、資金計算ベース帳票が選択不可のままになっていたのを修正しました。
- ※配賦選択を「配賦する」としたときは、資金計算ベースの帳票は選択不可になりますが、「配賦しない」から「配賦する」に切り替えて、さらに「配賦しない」に切り替えたとき、或いは、業務起動時に「配賦する」になっている状態から「配賦しない」に切り替えたときに、資金計算ベースの帳票が選択不可のままになっていたのを修正しました。
- ・集計方法で「期間集計」選択時は、収支予算書を選択できないようにしました。
従来より、決算書業務での予算額は、通常集計でも期間集計でも「通常集計（期首からの累計）」の金額で出力されているため。

2) 内訳表【公益Ⅲ】

- ・部門配賦設定の切替時、資金計算ベース帳票が選択不可のままになっていたのを修正しました。
決算書と同様です。
 - ・貸借対照表内訳表において、資産の部（I 資産の部～資産合計）のデータが1頁ちょうどで収まるとき、「負債の部で改ページする」をONで出力すると、次頁の負債の部が1科目で改頁されていたのを修正しました。
 - ・期間集計機能を追加しました。
決算書と同様に「期間集計」の出力に対応しました。
「各月出力する」がOFF、累計/発生が「発生」のとき、「期間集計を行う」が選択可能になります。
なお、「期間集計を行う」がONのときは、「各月出力する」は選択不可になります。
- ※期間集計時は収支予算書は選択できません。
決算書業務での予算額が「通常集計（期首からの累計）」の金額で出力されており、内訳表業務の帳票を決算書業務と同値で出力するための対応です。

法人別 部門別

部門 出力パターン1 (部門別) 詳細 配賦しない

出力帳票の選択

出力範囲 標準出力 全表選択/解除

貸借対照表 収支予算書

正味財産増減計算書

資金計算ベース

収支計算書 収支予算書

用紙サイズ B 4

出力期間の指定

出力月 4 5 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3 決
30年 03月 01日 決 ~ 30年 03月 31日 決

各月出力する

累計/発生 発生

期間集計を行う

- ・予算書の出力について、『出力月を「1ヶ月」、累計/発生を「発生」』の設定で出力したとき、従来は、当初予算額も詳細入力（予備費流用・科目流用・補正予算）の額も「指定した1ヶ月分」の金額で出力されていたのを、「期首から指定月まで」の金額で出力するように対応しました。
- ※今回のプログラムでは、『出力月を「1ヶ月」、累計/発生を「発生」、期間集計を行うは「チェックなし』という指定で出力してください。

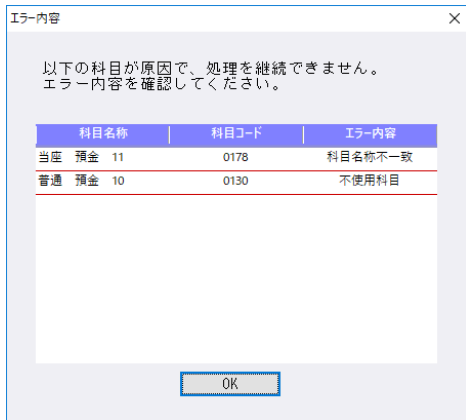
3) 財産目録【公益Ⅲ】

- ・部門配賦時の出力について、配賦設定が不完全などで共通部門に残高が残っている場合、画面では共通部門に残高が表示されるが、出力されなかったのを修正しました。

V. 通信・移動

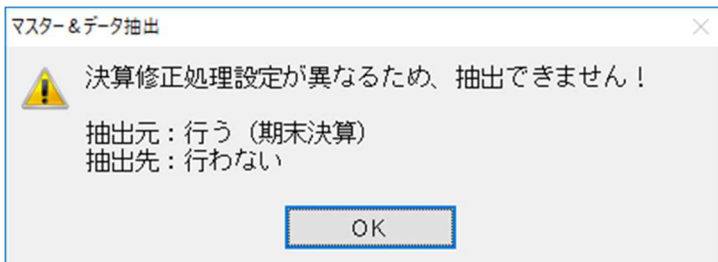
1) マスター&データ抽出

- ・未設定科目エラーが発生した時に、原因科目をリスト表示するようにしました。

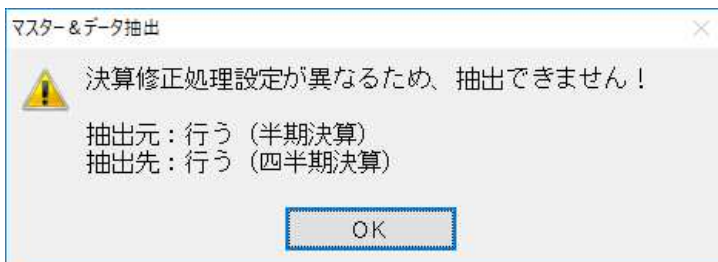


- ・マスター入替時、決算修正処理設定が異なる場合に表示するエラーメッセージの内容を変更しました。送信元、送信先の決算修正処理設定の情報をメッセージ内に表示するようにしています。

(例) 抽出元/決算修正処理：行う（期末決算） 抽出先/決算修正処理：行わない場合。



(例) 抽出元/決算修正処理：行う（半期決算） 抽出先/決算修正処理：行う（四半期決算）の場合。



- ・受信一覧に給与データが表示されていたのを修正しました。

以上